

事業所名

にこにこ園焼山

支援プログラム

作成日

2025年

3月

1日

法人（事業所）理念		より楽しく、より成長											
支援方針		児童が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、社会との交流を図ることができるよう、児童の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行っていきます。											
営業時間		平日 学校休業日	10 9	時 時	00 00	分から 分まで	19 19	時 時	00 00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容													
本人 支 援	健康・生活	活動を通じて、健康状態の維持、向上に繋げていけるよう、検温、感染予防に配慮し、生活能力の維持、向上、生活リズムの安定に繋げていけるよう支援していきます。 身辺整理、食事、衣類の脱着、排せつ等の必要な基本的技能を獲得できるよう支援していきます。											
	運動・感覚	活動を通して、身体能力や体力、感覚機能の維持、向上を図ります。 日常生活の中での生活動作、姿勢、指先の運動、筋力の維持、強化、上下肢の運動・動作の改善、習得を図ります。											
	認知・行動	活動の中で、視覚、聴覚、触覚等を用い、一人一人に合わせたアプローチの仕方、認知機能の発達を促していきます。その中で、認知から行動に移していけるよう支援していきます。 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生じる行動障害の予防、及び適切行動への支援をしていきます。 興味の持てることを見つけ、様々な経験の中で、できること、達成感から自信に繋げていけるよう支援していきます。											
	言語 コミュニケーション	一人一人に合ったコミュニケーション手段（言葉、絵カード、ジェスチャー等）を用いて相互理解を図っていきます。 一人一人の気持ちに寄り添い、個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、共同注意等のコミュニケーション能力の向上に繋げていけるよう支援していきます。											
	人間関係 社会性	活動を通して、関わり方を学び、ルールを理解し遊びや集団活動に参加できるよう支援していきます。 人との関係を意識し、身近な人と信頼関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援をしていきます。 並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ共同遊びを通して、徐々に社会性を身に付けていけるよう支援していきます。											
家族支援		日常生活、利用時の出来事を共有させていただき、相談、助言を行っていきます。						移行支援		学校や関係機関との連携を行い、必要に応じて、情報の共有、伝達を行っていきます。			
地域支援・地域連携		関係機関との連携（相談支援事業所、医療機関、子ども家庭センター等） 教育機関との連携（登校先の学校等） 必要に応じて、連携行っています。地域の行事への参加、事業所間交流等。						職員の質の向上		外部研修を定期的に行っています。 内部研修、ミーティングの定期的な開催により、情報共有を行い、職員の質の向上に努めています。			
主な行事等		季節に合わせたイベント（初詣、節分、プール、クリスマス会、ハロウィン等） 集団活動、身体を動かす活動、工作活動、クッキング等 毎月の活動内容、イベントを事業所内で考え、支援させていただいています。											